

経皮的左心耳閉鎖術における 心臓 CT バーチャル経食道心エコー解析ソフトウェアの有用性に関する検討 LAAC-CT-TEE 研究

1. 研究の対象

2019年9月1日～2021年3月31日に当院で経皮的左心耳閉鎖術をうけられ、術前に心臓 CT を撮像された方(当院は約 20 例の予定)

2. 研究期間

倫理委員会承認後～2024年3月31日

3. 研究目的・方法

非弁膜症性心房細動患者の脳梗塞予防として、経皮的左心耳閉鎖術が行われており、経食道心エコー検査が手技前の標準的評価法です。対象患者の術前検査での負担を減らし、再現性の高い術前評価を行うために、心電図同期造影コンピュータ断層撮影を用いたバーチャル経食道心エコーソフトウェアを開発しています。経皮的左心耳閉鎖術を施行され、心臓 CT を撮像された患者さんのデータを解析し、ソフトウェアの有用性を評価します。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、治療歴、合併症等の発生状況、入院時血液検査所見、CT 画像、心エコー画像 等

5. 外部への試料・情報の提供

データセンター（岩手医科大学）へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の個人情報管理者が保管・管理します。また、データ提供の際は匿名化し、データセンターに提出致します。したがって、外部に個人を特定できる情報が漏洩する可能性はありません。なお、本研究の成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。

6. 研究組織

岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野 森野 禎浩

東邦大学大橋医療センター 循環器内科 原 英彦

榊原記念病院 循環器内科 七里 守

倉敷中央病院 循環器内科 久保 俊介

7. 研究費および利益相反

研究費は内科学講座循環器内科分野の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、臨床情報が当該研究に用いられることについて患者さんからご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2丁目1番1号
電話番号 019-613-7111（研究事務局：内線 6415）平日 9:00～17:00
岩手医科大学 医学部 内科学講座 循環器内科分野 助教 中島祥文

研究責任者：岩手医科大学医学部 内科学講座 循環器内科分野 教授 森野禎浩

-----以上